

この概要は、令和6年2月20日に開催した茅ヶ崎市景観まちづくり審議会の速報として作成したものです。

詳細については、令和6年4月4日までに公表する予定の会議録でご確認ください。

令和5年度 第3回茅ヶ崎市景観まちづくり審議会 会議概要

日 時：令和6年2月20日（火）

14時00分から16時00分まで

場 所：茅ヶ崎市役所分庁舎5階 B会議室

出席委員：水沼委員 三友委員 高橋委員 清水委員 菊地委員

欠席委員：深谷委員 荒井委員

出席職員：【都市部】後藤都市部長

【景観みどり課】田代課長 石下主幹 塩谷主任 大竹主任

【資源循環課】小俣課長 林主幹

【建築課】中村課長補佐 前田課長補佐

【保健企画課】榎本課長 前田課長補佐 竹内副主査

そ の 他：【有限会社小泉アトリエ】小泉雅生氏 小泉大河氏 北山氏

【メタウォーター株式会社】松本氏 高須氏

【内藤建設株式会社】古田氏 吉村氏

1 開 会

2 諮 問

(1) (仮称) 保健所・保健センター整備事業について

資料に基づき事業担当者が説明を行い、審議会です承された。主な意見は以下のとおり。

- ・保健所・保健センターを建てるにあたって、明るいだけではない、匿名性だけではないという条件があると思うが、他の自治体も同じような条件の中で、今回の計画にあたり、茅ヶ崎市景観計画における景観目標に対する姿勢を、発注者はどのように設計者に伝えているのか。
- ・スロープの開口部について、デザインとしては良いものだが、来所者のプライバシーは保たれるのか。
- ・2階の栄養指導室について、外から調理実習に参加する人々の姿を見ることができるとあるが、平面図を見ると窓の前に腰高収納を設置しているように見える。せっかく外に向けて見せようと工夫しているが、見えにくい状態になってしまうのではないか。
- ・4階の屋上部分について、一般来所者が過ごす計画ではなく、職員が視覚的にうるおいを感じられる空間とすると協議結果にて回答があるが、4階のその他の緑地スペースについても同様の計画としているのか。
- ・子どもたちが親しみやすい、安心できるイメージとしてパステルカラーなどのポップなものが考えられる。内装面についての話になると思うが、そのような雰囲気がある場所もあった方が良いのではないか。

(2) 環境事業センター粗大ごみ処理施設整備事業について

資料に基づき事業担当者が説明を行い、審議会です承された。主な意見は以下のとおり。

- ・既存の施設を含めて、複数棟の建物があるため、新築施設の入口が少し分かりにくいのではないかと

感じるため、見学に来た方が分かりやすい入口となるようにできないか。

- ・既設の施設との調和、一体感をもって外観デザインを計画していると説明があったが、既設の施設にはない部分で、外壁の高所にグリーン、足元にベージュを取り入れた理由を教えてください。
- ・新しく施設を建てるにあたり、市民一人ひとりのごみに対する意識を高められるよう、展示や受け入れる姿勢においても、工夫を行ってほしい。
- ・緑化について、現在の計画だと敷地内部から見られることを意識したものになっている。敷地外、敷地内のどちらから見られることが多いのかを意識して、配置を調整して行ってほしい。
- ・外観の色の使い分けについて、説明を聞かないと理由を読み解くことが難しい。
グリーンが里山を表すのであれば、里山のシルエットのような外壁ペイントなどを取り入れて、散歩中の人が見て、リサイクルを意識したり、未来志向になるような工夫を取り入れるのもいいのではないか。

3 その他

- ・来年度の審議会の日程等について報告を行った。

4 閉 会